

新羽町東急住宅建築協定書

(目的)

第1条 この協定は、建築基準法(昭和25年法律第201号)第69条及びこれに基づく横浜市建築協定条例(昭和31年6月横浜市条例第17号)第2条の規定に基づき、第5条に定める建築協定区域(以下「協定区域」という)内における建築物の用途、形態、構造、及び敷地に関する基準を定め、住宅地としての良好な環境を高度に維持増進することを目的とする。

(定義)

第2条 この協定における用語の意義は、建築基準法及び建築基準法施行令に定めるところによる。

(名称)

第3条 この協定は、新羽町東急住宅建築協定と称する。

(協定の締結)

第4条 この協定は、協定区域内の土地の所有者及び建築物の所有を目的とする地上権又は賃借権を有する者(以下「土地の所有者等」という。)の全員の合意によって締結する。

(協定区域)

第5条 この協定の目的となる土地の区域は、横浜市港北区新羽町字北耕地1871-10ほか別図に示すとおりとする。

(建築物に関する基準)

第6条 協定区域内の建築物の用途、形態、構造及び敷地は、次の各号に定める基準によらなければならない。

(1)用途は、一戸建専用住宅、共同住宅、長屋、寄宿舍又は下宿とする。ただし、当協定地区の環境を阻害しないもので、協定運営委員会が横浜市と協議の上認められたものはこの限りでない。

(2)建築物の高さは、地盤面から12メートルを超えないものとする。

(3)地階を除く階数は、3以下とする。

(4)敷地の最小面積は、100平方メートルとする。ただし、協定認可公告時にこれに満たない敷地にあってはその面積を最小面積とすることができる。

(5)敷地の地盤面の変更はできないものとする。ただし、自動車車庫を建築するための切土、盛土についてはこの限りでない。

(運営委員会)

第7条 この協定の運営に関する事項を処理するため、新羽町東急住宅建築協定運営委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、協定区域内の土地の所有者等の互選により選出された委員若干人をもって組織する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(役 員)

第8条 委員会に、委員長、副委員長2人及び会計1人を置く。

2 委員長、副委員長及び会計は委員の互選によって定める。

3 委員長は、委員会を代表し、この協定の運営事務を総理する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は、委員長が欠けたときは、あらかじめ、委員長が指定する副委員長がその事務を代理する。

5 会計は、委員会の経理に関する事務を処理する。

6 委員長の任期が満了したとき、又は委員長が欠けたときは、新たに委員長となった者が、速やかにその旨を横浜市長に報告するものとする。ただし、再任されたときは、この限りでない。

(委 任)

第9条 前2条に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が定める。

(違反者に対する措置)

第10条 委員長は、この協定に違反した者（以下「違反者」という。）があったときは、違反者に対し、委員会の決定に基づき文書をもって相当の猶予期間を付して、是正のための必要な措置をとることを請求することができる。

2 違反者は、前項の請求があったときは、これに従わなければならない。

(裁判所への提訴)

第11条 委員長は、違反者が前条第1項の請求に従わないときは、委員会の決定に基づき、その強制履行又は違反者の費用をもって第三者にこれをなさせしめることを裁判所に請求することができる。

2 前項の訴訟手続きに要する費用等は、違反者の負担とする。

(土地の所有者等の届出)

第12条 土地の所有者等は、所有権及び建築物の所有を目的とする地上権又は賃借権を移転するときは、あらかじめ、その旨を委員長に届け出なければならない。

(協定の変更)

第13条 土地の所有者等は、協定区域、建築物に関する基準、有効期間又は違反者に対する措置を変更しようとする場合は、その全員の合意をもってその旨を定め、これを横浜市長に申請して認可を受けなければならない。

(協定の廃止)

第14条 土地の所有者等は、この協定を廃止しようとする場合は、その過半数の合意をもってその旨を定め、これを横浜市長に申請してその認可を受けなければならない。

(効力の承継)

第15条 この協定は、認可公告のあった日以後において土地の所有者等とな

った者に対しても、その効力があるものとする。

(有効期間)

第16条 この協定の有効期間は、横浜市長の認可公告のあった日から5年間とする。ただし、期間満了の6カ月前までに第14条による協定の廃止の合意がなされなかった場合は、期間満了の翌日から起算して5年間有効期間を延長するものとする。以後、この例による。

なお、違反者の措置に関しては、期間終了後も効力を有する。

附 則

(効力の発生)

1 この協定は、横浜市長の認可公告のあった日から効力を発する。

(適用の除外)

2 この協定の認可公告のあった日前に現に存する建築物又は現に建築、修繕若しくは模様替の工事中の建築物（以下「既存建築物」という。）については、この協定の規定は適用しない。ただし、協定の認可公告のあった日以後に、当該既存建築物を増築し、改築し又は移転する場合は、当該増築し、改築し又は移転する部分については、この協定の規定を適用する。

新羽町東急住宅建築協定の締結に同意します。

平成 年 月 日

所有土地の表示

横浜市港北区新羽町
宅地

平方メートル

土地の所有者、借地権者

住所

氏名

住所

氏名

印